

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
06324大江町	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	全国学調の質問紙において、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という設問に対する前向きな回答が小学校では84.7%、中学校では93.8%である。	地域コーディネーター1名が町内2小学校1中学校のコーディネートを行い、地域ボランティアやゲストティーチャーの活用促進を図る。また、コミュニティスクールと地域学校協働本部との有機的な連携を図っていく。	教委・教職員地域の人と関わる活動や、地域における活動について外部支援者との連絡を密にするため、地域コーディネーターの配置により、学校の教育活動における子どもたちと地域の人がふれあう機会を確保し、増やすことができる。	各学校において地域に出る活動や地域の人と関わる活動の促進はもちろん、地域における活動についても地域ボランティアの参画により、子どもたちと地域の人がふれあう機会を増やし、子どもたちの地域に対する意識を高めていく。	全国学調の質問紙における、①「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という設問の肯定的回答の割合	(小)84.7% (中)93.8%		(小)90 (中)95		

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。